



2023 SUPER GT Rd.8

2023.11.4-5 MOBILITY RESORT MOTEGI

はじめに

4月に開幕したSUPER GT も今大会で最終戦を迎えることになりました。今年からGT500にステップアップし、色々なことを学びながらシーズンが進んで行きましたが、その集大成として迎える最終戦はチーム全体が高い士気を持って現地に向かいました。私としては前週のSUPER FORMULAで優勝できたこともあり、SUPER GTでも優勝がしたいという気持ちが非常に強い中で臨むこととなりました。

公式練習

いつも通り伊沢選手から走り始めた公式練習は、前戦のオートポリスよりも良い滑り出しになりました。持ち込んだセットアップのバランスは悪くなく、アジャストを加えるとマシンが改善していくのを感じました。茂木ではレース前にテストをしていたこともあり、ドライビング面ではすぐに限界に近いパフォーマンスを出すことができてよかったです。バランス的には悪くありませんでしたが、タイヤのピークパフォーマンスは他メーカーの方が出ているようで、予選のQ1突破はギリギリになりそうというのが公式練習終了段階での印象でした。

予選(Q1担当:7位)

Q1を担当しましたが、Q2にバトンを繋ぐには非常にシビアな戦いになることが予想されていたので緊張感を持って臨みました。入念にタイヤを温めてからアタックを行い、最後の周でタイムを更新して8番手に滑り込みました。9位のマシンとは千分台の争いでしたし、自分としてはミスのない良いラップで通過することができてよかったです。Q2は伊沢選手が担当し7番手と、公式練習の結果よりも高い順位で終えることができました。

決勝(リタイア)

7番手からのスタートとなった決勝は伊沢選手がスタートドライバーを務め、ポジションをキープして走行していましたが、途中に降り始めた雨によって我々のタイヤのパフォーマンスが他車に対して劣る形になってしまい、ポジションを落としてピットストップを迎えました。私にドライバーチェンジをした際には、事前に決定していたタイヤの1本交換を行いコースに復帰しましたが、その後はポジションを守ることは難しく、チームの判断で再度ピットすることとなりました。この時点で勝負権は失う形になってしまいましたが、来期に向けたデータを収集するためにバックアップのタイヤでコースインしました。しかし、タイヤの温まりに苦勞しピットアウトしてから3周目の1コーナーで300クラスの車両と接触してリタイアとなってしまいました。勝負権は失っていたので、決して無理をしていたわけではなかったのですが、温まりに苦勞している中でフロントタイヤをロックアップさせてしまった形です。最後の最後で接触リタイアという形になってしまいチーム及び関係者の皆様に申し訳ないです。

おわりに

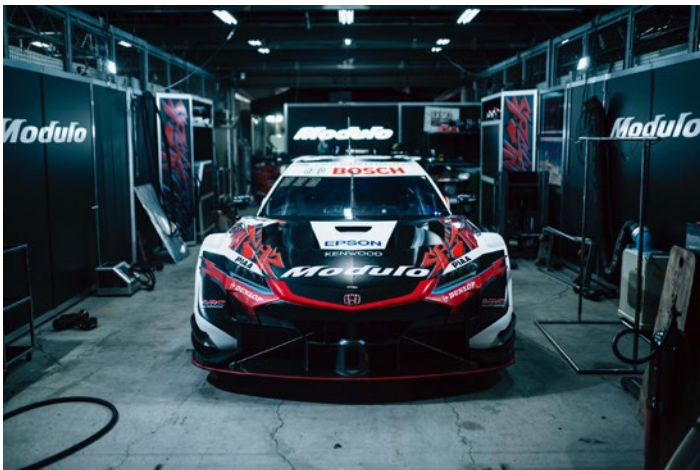
今大会は1年を締めくくる大切な一戦で自分自身はもちろん、チーム全体が絶対に前でゴールするという気持ちが強かったのですが、このような結果になってしまい悔しい限りです。予選ではなんとかQ1を突破できてよかったのですが、決勝の接触には悔いが残ります。一年を通して中嶋レーシングの皆さんには多くのことを学ばせてもらい、ドライバーとして成長できる最高の環境に身を置くことができました。最後にこのような結果になってしまい残念ですが、これからドライバーとしてさらに成長できるように全力を尽くしたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



KAKUNOSHIN OHTA RACE REPORT

2023 SUPER GT Rd.8

2023.11.4-5 MOBILITY RESORT MOTEGI



HONDA

